

IX 国際交流

1 海外への研修

1) デンマーク看護研修

(1) 目的

本研修の目的は、「諸外国の異文化に触れ、そこから日本を考える機会にする。主にデンマークの社会・文化・福祉および医療や看護の実際に触れ、これからの医療のあり方、自己のあり方について考えを深める機会とする。」ことである。

(2) 実施概要

実施期間：2013年8月19日～9月2日

参加者：17名（学生15名、教員2名）

団長 鈴木 陽子（教授）、副団長 飯室 淳子（准教授）

月 日	内 容
8月19日（月）	11時40分 成田空港 発 16時05分 コペンハーゲン空港 着 空港から東海大学ヨーロッパ学術センター（TUEC）に移動＜専用バス＞
8月20日（火）	午前：講義 小島ブンゴード孝子先生「デンマークの社会」（TUECにて） 午後：MARGRETHELUND 高齢者住宅 訪問
8月21日（水）	午前：ホームドクター訪問 午後：グルントヴィ国民高等学校訪問
8月22日（木）	午前：デンマーク看護協会訪問 午後：広域救命緊急統合連絡センター訪問
8月23日（金）	午前：森の幼稚園 訪問 午後：自由研修
8月24日（土）	終日自由研修
8月25日（日）	コペンハーゲンからシルケボーに移動＜専用バス＞ 途中、アンデルセン博物館、看護史博物館見学
8月26日（月）	午前：VIA ユニバーシティカレッジ シルケボー看護学部 訪問 ・デンマークの健康教育と看護の学士プログラムの紹介 ・シルケボー看護学部の看護と看護技術 ・翌日以降の研修について 午後：シルケボー病院 患者ホテル訪問
8月27日（火）	午前：シルケボー病院訪問 / 地域センター訪問 午後：医療短大学生プレゼンテーションとグループワーク 夕方：デンマーク学生と医療短大学生の夕食交流会
8月28日（水）	午前：地域センター訪問 / シルケボー病院 訪問 午後：病院訪問と地域センター訪問後の振り返り 夕方：シルケボー校の先生宅で食事会

8月29日(木)	ホテルから見学施設の往復<専用バス> 午前:エグモント国民高等学校 訪問 夕方:フェアウエルパーティー
8月30日(金)	シルケボーからオーフスに移動し研修を行い、終了後にコペンハーゲンに移動 <専用バス> 午前:VIAユニバーシティカレッジ オーフス看護学部 訪問 ・演習「解剖・生理学演習」 ・臨床看護技術演習:講師による説明 ・臨床看護技術演習:学生によるプレゼンテーション
8月31日(土)	終日自由研修
9月1日(日)	ホテルから空港に移動<専用バス> 15時40分 コペンハーゲン空港 発
9月2日(月)	9時35分 成田空港 着

2) 海外研修航海

(1) 目的

本学の建学の精神に則り、東海大学、東海大学短期大学部、東海大学医療技術短期大学、東海大学福岡短期大学に在籍する学生より研修学生を広く公募、選考し、本学所有の海洋調査研修船を使用して諸外国を訪問し、海外の諸文化、諸事情に触れ、国際的な視野に立った人生観、世界観を確立させると共に、船内という限られた生活環境の中で、教員、仲間との共同生活を通じ協調性を養い、より豊かな人間形成をはかることを目的とする。

(2) 実施概要

実施期間:2014年2月15日~3月27日

参加者:学生の参加者はなかったが、蔵本文乃講師が団役員として派遣を受け乗船した。

3) ハワイ語学研修

(1) 目的

英語圏での諸文化、習慣等に直接触れることにより英語運用能力の向上と、国際感覚をみにつけることを目的とする。

(2) 実施概要

実施期間:2月下旬~3月下旬

参加者:なし